

広報

しおばら

9

2014/September

No.114

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

2 特集 木の駅プロジェクト始動

8 庄原小学校校舎改築工事が始まりました

10 庄原市職員募集

12 市民憲章を募集します

13 新農業委員に42人

14 さとやまガーデンフェスティバル 2014

／JR備後庄原駅西側無料駐車場が使用できなくなります

15 安心・安全な毎日のために

／母子保健だより

16 庄原夏まつり

18 市政トピックス

21 カメラレポート

24 健康広場

25 お知らせ

たか
く
い
！

市内で活躍しているさまざまな車両が集まるイベント「働くクルマ大集合」が7月21日、庄原小学校グラウンドで行われ、多くの親子連れでにぎわいました。乗ったことのないクルマに乗れるとあって、子どもたちは大興奮。主催した庄原青年会議所の石川秀基さんは「予想以上の方に来ていただき、喜んでいただけたので良かったです」と話していました。





東城地域の取り組み

東城地域では、東城地区の各自治振興区や林業関係者などで組織する「東城木の駅実行委員会」が主体となり進めていきます。

出荷者はまず、事前に実行委員会に登録します。間伐などで切り捨てられていた林地残材を軽トラックに積み込んで、東城町内5カ所に設置された木の駅に持ち込みます。買い取りの対象となる木材は、町内の山林で過去1年以内に伐採されたスギ・ヒノキ、実行委員会が認めるマツなどの天然木で、長さ0.5〜2m、末口（細い方）が5cm以上で枝払いしたもの。実行委員会が1t当たり6千円（うち3千円を市が補助）で買い取り、地域通貨「里山券」を発行します。本年度3百tの出荷を見込んでいます。

里山券は実行委員会に登録した店舗（8月21日時点で64店舗）で、一枚1千円から利用できます。



8月1日の初出荷の様子。軽トラックで運び込んだ木材を出荷者ごとで土場に降ろし、立て札を設置



「木の駅プロジェクト」に取り組む理由

荒れた山を何とかしたい

昨年9月、市政懇談会東城会場の地域テーマとして「森林を活かしたまちづくり」が提案されました。「この議論が木の駅プロジェクトスターへの契機になった」と語るのは、帝釈自治振興区会長で東城木の駅実行委員会委員長を務める表良則さん。東城町自治振興区連絡協議会として地域課題のテーマを絞る際、森林を活用した地域づくりが議論の中心になったのだといいます。それは、山林を抱え

る地域住民の中には、山が荒れ放題になっている状況を何とかしたいという思いがあり、集まったメンバーが共通して持っていた思いでもありました。「みんなが山に関心を持たない現状がある。昔のように山への関心を持つてもらい、もう一度山に足向けたい」と。そのひとつの手法として着目したのが、木の駅プロジェクトでした。「この取り組みで、放置された間伐材などが活用され、山の手入れが進む。林業の再生につながる」と期待します。

地域通貨で経済活性化を

「実は商工会では、地域経済の活性化に向けて地域通貨を勉強しはじめていたところでした」。東城町商工会事務局長の藤原富雄さんは、地域通貨が流通する木の駅プロジェクトの取り組みに大きな期待を寄せている一人です。以前から農商工連携、6次産業化を進める議論を進めていた東城町商工会では、林業ともつながれないかと議論を進めていたといいます。「木を商と結び付けられないかとい

う話もしていたので、このプロジェクトの話は本当にいいタイミングでした」と話します。

実行委員会の設立に向けた準備委員会が立ち上がった段階から、藤原さんはオブザーバーとして参加。3月4日の理事会で商工会として正式にプロジェクトへの参加を決めました。「地域通貨の導入は経営の厳しい小さな店舗の支援につながるはず。商工会としてもこの取り組みを必ず成功させたい」と意気込んでいます。



木の駅に木材を出荷しようと順番を待つ軽トラの列

木の駅プロジェクト始動

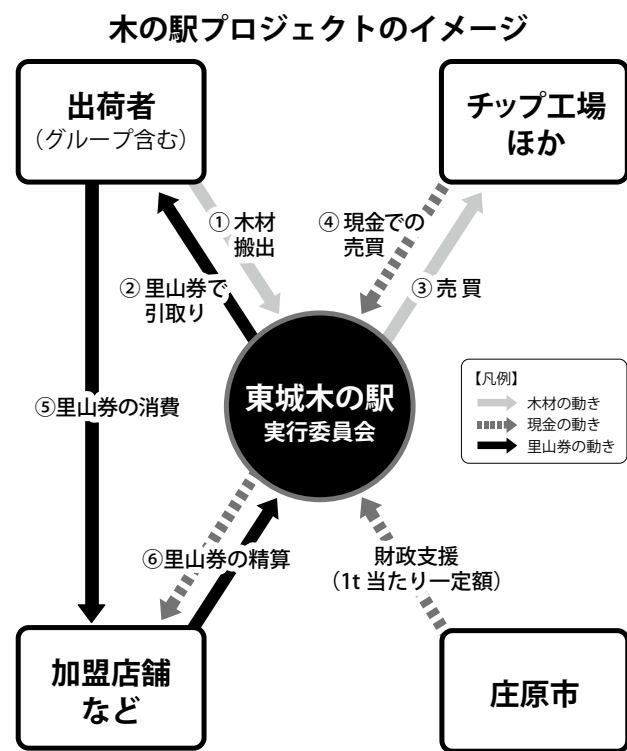
特集

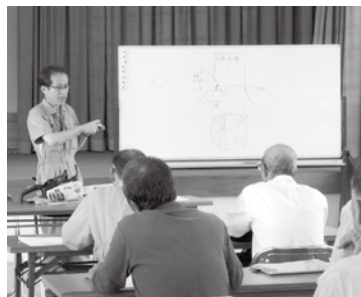
「木の駅プロジェクト」を知る

木の駅プロジェクトとは、地域にある森林資源を活用した地域活性化のための仕組みづくりを目的にした、国内の40以上の地域で導入されている取り組みです。

「木の駅」とは木材の集荷場所を指し、ここに木材を出荷しようとする人が間伐材や林地残材などを運び込みます。集荷された木材はチップ工場などが買い取り、その量に応じて地域通貨を出荷者に交付します。出荷者はこの地域通貨を加盟する店舗などで利用して買い物ができるというシステムです。

林内に放置された間伐材などを地域通貨と交換し、地域活性化を目指す「木の駅プロジェクト」が東城地域でスタートしました。今月は、森林（もり）の再生と新たなまちづくりの形、新たな地域振興策と期待されるこの取り組みに迫ります。





7月28日には出荷登録者を対象にした伐採造材研修を実施。この研修ではプロジェクトの出荷要件にあわせたプログラムで行われ、主にチェーンソーの使い方を学んだ。



「森林」 を生かすまちづくり

市政懇談会で東城地域全体の課題として議論できたことで、このプロジェクトを具体的に進めていく計画が進み始めました。同年11月末には、このプロジェクトにいち早く取り組んでいる鳥取県八頭郡智頭町を視察し、その後も調査・研究を重ね、東城地域に合う形を検討。準備委員会を経て7月24日、東城木の駅実行委員会が設立され、8月1日本格的にプロジェクトがスタートしました。

委員長を表良則さんに、この事業に対する思いを聞きました。

木の駅プロジェクトは単なる林業振興の取り組みではありません 住民参加のまちづくりにつながる将来性のある事業です

荒れた山、寂しいまちなかを何とかしたい

現在の山は、戦後植林したままの状態が続いています。本来であれば間伐して木と木の間隔を空け、太陽の光が入る山にしないとけません。植えたままの状態では、狭い範囲で多くの木が生えているので大きくなれませんが、草が生えず木の根が張らないので災害も起きやすくなります。また、木の根元や曲がった木はお金にならないため、除伐や間伐をしてもそのまま山に放置されていました。

それに加え、東城のまちなかは昔に比べ人通りが少なくなり、シャッターも閉まった店が増え、寂しい思いがありました。

ここから「森林を生かしたまちづくり」の発想が生まれたのです。これを進めるにあたっては自治振興区だけでなく、林業関係のメンバーを始めオール東城で事業を推進する必要がありますという事で準備委員会を立ち上げました。

市政懇談会で提案し議論できたことで、市の支援を得られることになり、本格的に実行委員会としてスタートが切

れました。

皆で関わる住民参加型のまちづくりに

一般的には、山の仕事は大きな機械を設置して大規模に木を出していきますが、この事業では簡単に軽トラとチェーンソーがあれば、誰でも木を出荷できます。簡単に作業ができる程度の木を扱うので、高齢者でもできます。現に80歳を超えてもしっかり木を切って出される方もいらっしゃるしやり、私自身勇気付け

られました。

そして、皆で作業に関わる形をシステム化したいと考えています。一人では難しいことも二人だとできますし、やってみようという気にもなります。住民参加型のまちづくりにもつながっていくものと思いますし、これをいかに浸透させていくかだと思っています。

8月1日にスタートを切りましたが、帝釈地域では山主さん以外の皆さんにも参加していただいて運搬を行ってもらいました。皆で、地域で、山を守っていく形を作らなければならぬので、登録者以外にも参加してもらうことを考えていく必要があります。

人任せではなく、地域の山は地域で守る

今の山の作業というのは大きく分けて二つあります。一つは施業委託型。山主が依頼して森林組合や木材業者が木を買って出荷するので、山主はほとんど関わりません。そうすると山への関心は薄くなり、「業者に任せておけばいい」となってしまいます。も



東城木の駅実行委員会 委員長
表良則さん (66)

ビジョンを描き、強い気持ちで取り組む

一つは自伐型林業といって、自分で木を切って自分で出荷する形で、現在は少数です。こうした自伐型の小規模林家を増やしていくのが、この事業の狙いでもあります。とにかく一過性のもので終わらせてはいけません。将来的には地域の山は地域の者で守っていくという意識づくりも必要ですし、現実のものになるようにやっていかないといけないと思っています。

今、都会の若者が山に関心を持つ、田舎で働きたいと言う記事をよく読みます。市が



横山正昭さん(69)
帝釈宇山

収入源として 魅力があります

これまで1ト当たり3千円だった木材が、倍の6千円で買い取ってもらえるということで、収入源としてとても魅力です。里山券は確実に使うと思うので、町の活性化にも貢献できて、いい仕組みだと思います。

思います。

将来的には次世代の人が住むというビジョンを描きながらこれを実現させたい。そうした強い気持ちで取り組んでいきます。

※地域おこし協力隊

地域活性化に取り組む人材を地域（市）の外から誘致する総務省の支援制度。活動期間は1年で、最長3年まで更新が可能。



地域通貨「里山券」。
東城高校美術部の生徒が描いたイラストが好評

します。その後、出荷者はセンターで受け取る仕組みです。

里山券のデザインは、地元東城高校の美術部の生徒の皆さんに描いてもらいました。なぜかと言うと、こうした関わり方をしてもらうことで、子どもたちにも木の駅プロジェクトを身近に感じてもらえるのではという思いがありました。木を切り出す人だけが関わるのではなく、なるべく地元の多くの方に参加してもらえるように、地元の人が主役になってもらうことが大切だと思っています。

最終的な目標としては、山に関心を持っている人、それを見た人、普段山に入っ

ない人でも木を切ってみたいと思ってもらえ、そうした声を増やしたいです。「素人山主」とプロの山主との接点を増やすことで底上げしていきたいです。何も山に入るのは林業のプロでなくてもいい、誰でも入れるんだよという認識が広がり、そこが増えていけばいいと思います。

私は地元の人間ではないので、あくまでもサポート役だと思っています。今後も出荷者や商店の方と話をしながら、自分ができることを最大限頑張っていきたいと思っています。

このプロジェクトに関心をお持ちの方は、ぜひお気軽にご連絡ください。

木の駅プロジェクトを進める上で、この人の力が大きいと言われる人物がいます。それは、今年4月からこのプロジェクトに関わっている門野淳記さん。地域おこし協力隊員（※）として地域活性化に力を注いでいます。

地元の人が主役になることが大切です そのためのサポートをしていきたいです

東城木の駅実行委員会のお手伝いをしています。

地元で考えられて始まったプロジェクトですので、それをしっかり形にできるようサポートしたいと思っています。森林組合や林業事業者、商工団体などと連絡調整をとりながら事業を進めてきました。ポスターやのぼりといったものも作成し、住民の皆さんへのPR活動も行ってきました。

プロジェクトがスタートして増えた業務が、出荷量の計算と里山券の換金です。出荷者は木材を木の駅に出された後、各自治振興センターに伝票を届けられますので、これを回収、計算し、数量に応じた里山券をセンターにお渡し



地域おこし協力隊員
門野淳記さん

東城地域の取り組みを本市独自のものに発展させ、全市に広めていきたいです



林業振興課
森 繁 光 晴 課長

この夏、東城地域で産声をあげた「木の駅プロジェクト」は、地域住民の皆さんの手づくりによる、新しい地域づくりの取り組みです。

昨年9月の市政懇談会（東城会場）で、地域住民の方から「木の駅プロジェクト」の実施に向けた提案をいただきました。その後、精力的な先例地視察や会議など、準備を進められた関係者の皆さんの情熱は「すごい」と感じています。

平成25年3月に策定した「庄原市林業振興計画」では、「里山を生かす仕組みづくり」を基本方針のひとつとし、「地域や市民の参加による里山づくり」を掲げています。

さらに、「庄原いちばん基本計画」では、「木の駅プロジェクト」を、「地域産業のいちばん」の取り組みとして位置づけ、木の駅プロジェクト事業に取り組む団体の設立や運営、木材の買い取りに要する経費に対して補助制度を創設したところです。

このプロジェクトは本年度、東城地域での試行を通じて、運営方法の検証、課題や問題点の整理が行われる予定です。住民の皆さんと一緒に創意工夫を凝らし、ぜひとも本市独自の「木の駅プロジェクト」として発展させ、他の地域へも広げていきたいと考えています。

地域経済活性化に期待 加盟店増を目指します



里山券を利用して買い物する高尾要さん（左）



東城町商工会 事務局長
藤原富雄さん

里山券による経済活性化への期待は大きいものがあります。大小さまざまな店舗の中で、特に小さな店舗が厳しい状況があるので、地域通貨が導入できればそうした店舗の支援になるのではと期待しているところ です。

東城町内にある約520事業所のうち会員が320。そのうち里山券の取扱店は64店舗（8月21日時点）ありますが、まだまだ会員の中に浸透していないという点で、課題があります。我々の組織としての課題でもあります。加盟店が増えれば地域の人ももっと便利になると思いますので、この事業を知ってもらい、多くの会員に参加してもらうことで、加盟店が増えるようPR活動に力を入れたいと思います。

里山券を利用できる店舗は東城市街地が多いので、他の地域の加盟店増にも期待したいです。

●インタビュー



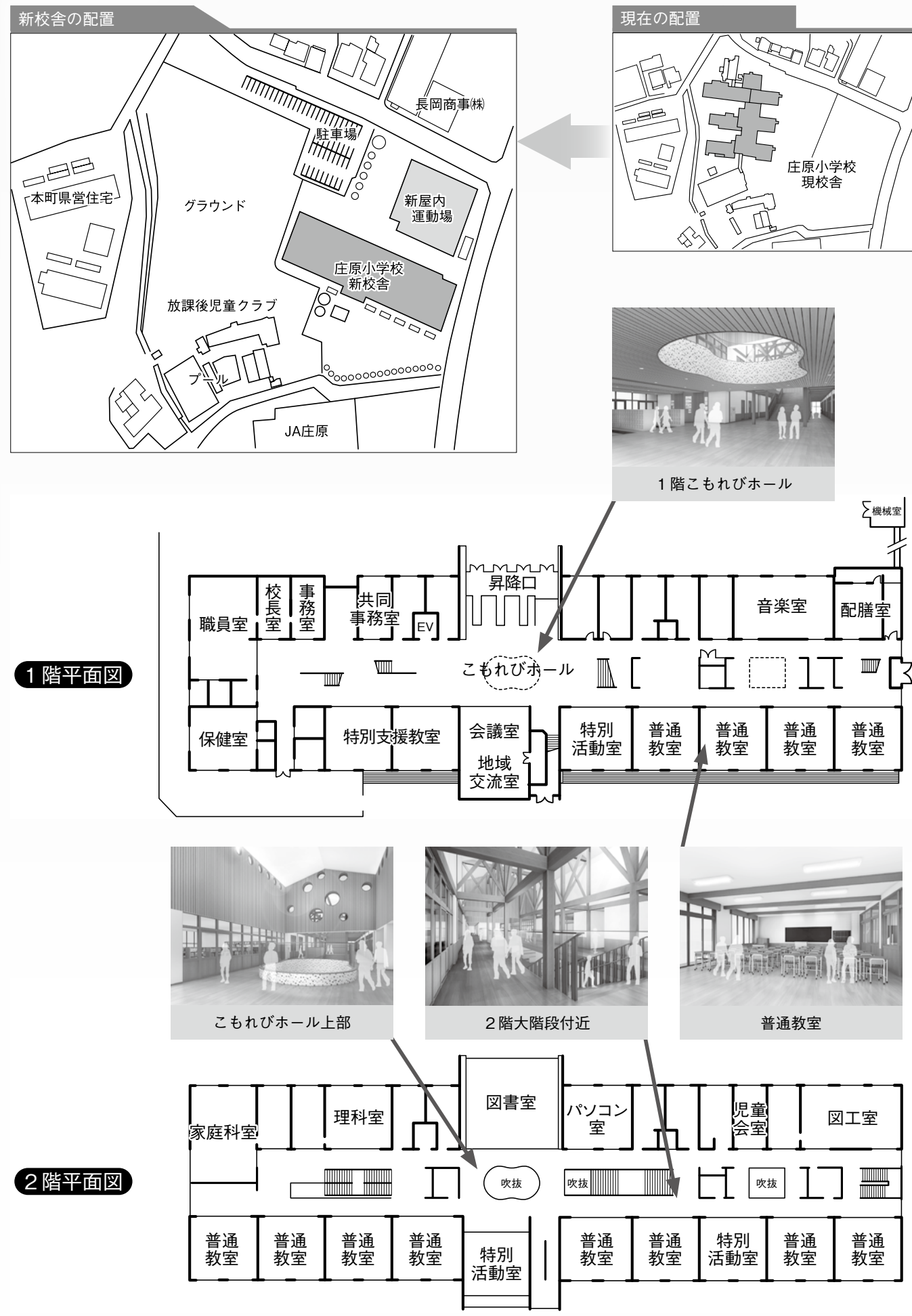
初めて里山券を利用した
高尾 要さん(80)＝帝釈宇山＝

山が好きでこれまでも木を切り出してきましたが、この制度でこれまで切り捨てていた木がお金になるので、頑張ろうという意欲が出てきました。振り込みではなく里山券という目に見える形で支給されるのがうれしいですし、通常の商品券と同じ感覚で使えていいですね。



魚長(うおちょう) 店主
長代和男さん(80)＝東城＝

まちの活性化につながるいい取り組みだと思います。父の代から70年続く鮮魚店ですが、お客さんの入りは多い頃に比べて3分の1にまで減りました。少しでも商売の足しになればと期待していますし、この取り組みを通じてまちづくりに協力していきたいです。



庄原小学校校舎 改築工事が 始まりました

Renovation of Shobara elementary school began



完成予想イメージ

教育総務課学校管理係 ☎ 0824-73-1186

現状

現校舎は、完成から40年以上が経過し、老朽化が著しく、耐震性が問題視されています。

また、棟数の多い校舎配置になっているため死角が多く、児童の行動把握や不審者対策が難しい環境にあります。校舎内の図書室や図工室は、学校の規模に対して狭く、2・3階には手洗い場が設置されていないなど課題があります。

事業計画

市は昨年度、校舎改築の実施設計を完了。本年7月に施工業者を決定し、8月から着工しています。

改築工事は、本年度から2年間の計画で行い、平成27年12月の完成を目指します。

新校舎の特徴

新校舎は、「環境に配慮した安全で温もりのある学校」を基本理念にした設計で、主に次のような特徴を持った施設となります。

- 地域木材を活用した温もりあるデザインで統一
- 職員室を敷地全体の中央に配置することで、建物内外への視界を確保
- 全ての普通教室を日当たりの良い南向きに配置

配慮事項

○工事期間中は工事区域を壁で区切り、工事区域への進入を防ぎ、児童の安全を確保します。

また、車両の出入り口には警備員を配置し、交通への配慮も行います。

○庄原小学校は指定避難所となっています。改築工事中も避難所として利用できます。

●今後のスケジュール(予定)

- 平成26年度 校舎改築工事(～平成27年度) 敷地整備実施設計
- 平成27年度 屋内運動場・現校舎解体実施設計
- 平成28年度 屋内運動場改築工事 グラウンド整備工事(～平成29年度) 現校内運動場解体実施設計
- 平成29年度 現校舎解体撤去工事 現屋内運動場解体撤去工事

さあ、私たちと一緒に働こう！

- ①仕事内容の紹介
- ②庄原市を受験する人へメッセージ

保健師

①育児相談や乳幼児健診など母と子の健康に関する業務や、思春期に対して『いのちの大切さ』を伝える業務をしています。妊娠が分かり母子健康手帳をお渡しするところから、妊婦さんと私たちの関わりが始まります。出産後は出産されたご家庭全てを訪問し、お母さんと一緒に子どもの成長を見守っています。また、庄原市で誰もが安心して育児できるよう、支援しています。

②住民の方に身近な保健活動ができること、優しく頼りになる仲間や住民の方と共に成長していけるのがこの仕事の魅力だと思います。一緒に頑張りましょう！

にった・ちあき

新田 千明

保健医療課健康推進係
母子保健関連業務を担当
平成 24 年4月採用



技術職（土木）

たばた・としひこ

田畑 隼彦

建設課第一土木係
市道改良・維持修繕業務を担当
平成 24 年4月採用



①市の観光ホームページを更新するなど、主に観光情報を発信する業務を行っています。庄原市には多くの観光資源がありますので、その魅力を発掘・発信し、より多くの観光客の方に庄原市に訪れていただけるようになること、庄原市に活気が生まれることを目指しています。

②まだまだ慣れない業務に苦労していますが、優しい上司、先輩にアドバイスをいただきながら日々業務に取り組んでいます。豊かな自然と人のあたたかさに恵まれた庄原市でお待ちしております。

一般事務職

じんでん・ひろとも

神田 雄友

商工観光課にぎわい観光係
情報発信業務を担当
平成 25 年4月採用



①子どもたちの基本的な生活習慣はもちろん、遊びや集団生活を通してさまざまな発見や体験をすることで社会性を身に付けることや、心身の健やかな発達をサポートしています。子どもたちが安心して保育所で過ごせるよう、笑顔で一人一人に寄り添った関わりを心掛けています。子どもの成長する姿に日々感動し、一緒に笑ったり、泣いたりしながら、自分自身成長していける保育士でありたいと思います。

②庄原市は自然や地域と密接しています。一人一人を丁寧に見守ることができるこの場所で、将来を担う素敵な子どもたちと笑顔と元気いっぱい一緒に過ごしましょう。

保育士

すやま・ゆか

壽山 侑華

高保育所
保育業務を担当
平成 26 年4月採用



庄原市職員募集

市はこのような職員を求めています

市民起点

自治振興区などを通じた地域活動に積極的に参画し、市民との協働に努める職員

経営感覚

組織のミッションを理解し、それを実現するための最善の方法を導き出せる職員

自律と創造

失敗を恐れずに新たな課題に果敢に挑戦していく職員

採用職種、採用予定人員および応募資格

職種	採用予定人員	応募資格
一般事務職	若干名	昭和62年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人
技術職(土木)	若干名	
保健師	若干名	昭和59年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有する人または平成27年3月31日までにこの資格を取得する見込みの人
保育士	若干名	平成元年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有する人または平成27年3月31日までにこの資格を取得する見込みの人
身体に障害のある人を対象とした一般事務職	若干名	介護者なしに一般事務職として職務の遂行が可能な人で、次の項目のいずれにも該当している人 ①昭和59年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人②受付期限までに身体障害者手帳の交付を受けている人③活字印刷文による出題に対応できる人

※1受験者につき1職種しか受験できません。

※保健師、保育士は資格を有する人、または資格を取得する見込みの人でないと応募できません。その資格を上記表に記載する日までに取得することができない場合は、正式採用される資格を失います。

■申し込み手続き

(1) 試験案内・申込書の入手方法

① 配布場所

総務課人事秘書係、各支所総務室

② インターネットの利用

市ホームページ (<http://www.city.shobara.hiroshima.jp>) に掲載中の試験案内から印刷してください。

③ 郵送による請求

庄原市総務課人事秘書係
(〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号) 宛てに返信用封筒を同封してご請求ください。
・総務課人事秘書係宛ての封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。
・返信用封筒(角形2号/縦33・2cm×横24cm)に宛先を明記し、120円切手を貼ってください。

(2) 提出書類

申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課人事秘書係へ提出してください。

(3) 申込締め切り

9月16日(火)
※郵送の場合は9月16日(火)消印有効

◎詳しくは、「平成26年度庄原市職員採用試験案内」をご覧ください。

■試験の方法

試験は第1次試験、第3次試験とし、第2次試験以降は第1次試験の合格者で行います。

●第1次試験●

試験日 10月19日(日) 8時～受付開始

試験会場

庄原市ふれあいセンター
(庄原市西本町四丁目5番26号)

試験科目

教養試験、事務適性検査、作文試験、専門試験〔技術職(土木)のみ〕

●第2次試験●

：集団討論試験
試験日、会場、試験内容詳細は、第1次試験合格通知でお知らせします。

●第3次試験●

：個別面接試験
試験日、会場、試験内容詳細は、第2次試験合格通知でお知らせします。

■採用予定年月日

平成27年4月1日採用予定

■問い合わせ

総務課人事秘書係
☎0824・73・1125

新農業委員に

42人

農業委員会農地係
☎ 0824-73-1133

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、公選委員 35 人が無投票当選、7 人が団体などからの推薦により選任されました。

任期は、7 月 20 日から平成 29 年 7 月 19 日までの 3 年間です。

7 月 22 日に、改選後初の農業委員会総会を開催し、会長に横谷康幸さん（高野町）、会長代理には川本輝磨さん（東城町）が選出されました。

農業委員は農業者の代表として、農地にかかる調整・相談や、農家の声を行政に届け、政策に反映させるための活動をしています。お気軽にご相談ください。

7 月 22 日に開催された第 5 回農業委員会総会

●庄原地区

議席	氏名	住所	担当地区	選出区分
1	なかたに 憲登 のりと	高茂町	高茂町、水越町、平和町	選任 (土地改良区)
2	いりた 正義 まさよし	川西町	高町	公選
3	せら 昭宣 あきのぶ	川北町	川北町	公選
4	さきき 美千江 みちえ	本郷町	本郷町、殿垣内町	選任 (JA庄原)
5	おきた 至 いたる	一木町	実留町、一木町、高門町	公選
6	しおや 良三 りょうさう	掛田町	三日市町、戸郷町、掛田町	公選
7	たなべ 良三 りょうさう	上原町	上原町、七塚町、田原町、市町	公選
8	くらもと 寿憲 ひさのり	川西町	川西町、小用町	公選
9	うえき 登夫 のりお	春田町	春田町、峰田町	公選
10	いとう 忠明 ただあき	川手町	川手町、西本町、本町、中本町	公選
11	おばら 春良 はるよし	本村町	本村町、上谷町	公選
12	よこた 充生 みつお	永末町	東本町、宮内町、永末町、大久保町	公選
13	きむら 英宗 えいそう	濁川町	濁川町、門田町	公選
14	はらだ 武次 たけじ	板橋町	新庄町、板橋町、是松町	公選
15	ますたに 克則 かつのり	山内町	山内町、木戸町、尾引町	公選

●総領地区

16	さきき 聖 きとし	亀谷	総領町全域	公選
----	--------------------------	----	-------	----

●西城地区

17	もりか 貢 みつぐ	中野	中野、大屋、中迫	公選
18	まえもと 旭 あきら	熊野	熊野、油木、福山、大原、今西	公選
19	たなべ 幸美 さちみ	三坂	小鳥原、三坂、熊野の梶谷、高尾、奥八鳥	選任 (市議会)
20	ただわ 信雄 のぶお	入江	栗、大戸、平子、入江、西城	公選
21	ひぐち 研二 けんじ	大佐	大佐、八鳥	公選

●東城地区

議席	氏名	住所	担当地区	選出区分
22	かわもと 輝磨 てるま	戸宇	戸宇、福代、東城	公選
23	やまだ 喜章 よしあき	川鳥	川鳥、保田、受原、菅	公選
24	はせ 時男 ときお	内堀	内堀、小串、塩原、千鳥、粟田	公選
25	たもり 光洋 みつひろ	栗田	栗田、竹森	公選
26	ふじい 佳子 よしこ	三坂	久代、新免、三坂	選任 (市議会)
27	みょうが 美伸 よしのぶ	帝釈未渡	帝釈宇山、帝釈始終、帝釈未渡、帝釈山中、川鳥	公選
28	やまやう 卓三 たくさう	小奴可	小奴可、加谷、森、田黒	公選
29	こうざか 勝博 かつひろ	川西	川東、川西、東城	公選
30	たけだ 弘稔 ひろとし	森甲	森、田黒	公選

●口和地区

31	しづかわ 玉素 たまき	永田	永田、湯木	選任 (県農共済)
32	まえだ 憲二 けんじ	向泉	向泉、宮内	公選
33	いわたき 功 いきお	大月	大月、竹地谷	公選
34	みちした 和子 かずこ	金田	金田、常定	公選

●高野地区

35	ながせ 裕浩 やすひろ	南	上湯川、下湯川、南、新市の別所上市・和手川	公選
36	よこた 康幸 やすゆき	下門田	奥門田、岡大内、下門田、上里原、高暮	公選
37	しまづ 秀樹 ひでき	中門田	中門田、新市の新町・札場・土手・祇園町・上本町・下本町・西町	公選
38	むこうだ 純子 じゅんこ	和南原	和南原、新市の市原・東半戸・川角・殿垣内	選任 (市議会)

●比和地区

39	まつなが 松百合子 ゆりこ	三河内	三河内の紋り・小和田南・小和田東・小和田北	選任 (市議会)
40	みかみ 静馬 しずま	古頃	古頃、木屋原(元常を除く)	公選
41	まつし 哲明 てつあき	森脇	森脇、比和(比和谷を除く)、三河内の越原	公選
42	いざい 一行 かずゆき	三河内	木屋原の元常・比和の比和谷、三河内の福田上・福田下	公選

市民憲章を募集します

Shobara Citizen's Charter that recruits

総務課行政係 ☎ 0 8 2 4 - 7 3 - 1 1 2 3

庄原市は、平成 27 年 3 月 31 日で市制施行 10 周年（合併 10 周年）を迎えます。

現在、庄原市まちづくり基本条例を制定し、市民の参画と協働による「市民が主役のまちづくり」を進めています。10 周年を機に、郷土愛の醸成とさらなる市民参加による一体感のあるまちづくりを進めるため、市民の理想と生活行動規範を示す『市民憲章』を制定します。

この市民憲章は 5 か条構成とし、前文を除く条文の文案を募集します。（前文は庄原市市民憲章策定委員会で作成します。）

制定にあたっては、おおむね次の事項を具備したものを対象とし、応募されたものを参考に、「庄原市市民憲章策定委員会」で検討の上、決定します。

- (1) 庄原市まちづくり基本条例の理念が反映されていること
- (2) 市民にわかりやすく、唱和しやすいものであること
- (3) 歴史や文化、自然環境など、庄原らしさが反映されていること

1 応募資格

庄原市内に住所がある中学生以上の方

2 募集期間

9 月 5 日(金)～10 月 10 日(金)

【当日消印有効】

3 応募形式

● 1 つの応募につき、**5 か条以内**とします。

※前文は庄原市市民憲章策定委員会で作成します。

● 応募者自らが作成し、未発表のものに限りです。

【注意事項】

- ① 1 人につき応募用紙 1 枚とし、1 回のみの応募とします。
- ② 作品は著作権を侵害する恐れのないものに限りです。
- ③ 作品に関する一切の権利は庄原市に帰属し、作品を補正や合作することがあります。
- ④ 応募用紙は返却しません。
- ⑤ 記載された個人情報、市民憲章策定事務以外の目的には使用しません。

4 応募方法

所定の応募用紙に必要事項を明記し、総務課または各支所総務室へ提出

するか、郵送・ファクス・電子メールのいずれかの方法で応募してください。

応募用紙は、総務課または各支所総務室に備えてあります。市ホームページからもダウンロードできます。

5 郵送先および問い合わせ

〒727-8501

庄原市中本町二丁目10番1号

庄原市総務課行政係

☎ 0824・73・1123

FAX 0824・72・3322

メール sounu-gyousei@city.shobara.hiroshima.jp

※ファクス・電子メールの受付は 24 時間、電話でのお問い合わせや窓口提出は、平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分まで。

6 その他

応募者の中から抽選で 5 人の方に記念品を差し上げます。当選者の発表は、記念品の発送をもって代えさせていただきます。

◎庄原市まちづくり基本条例については、各世帯に配布されている啓発パンフレットをご覧ください。か、市ホームページをご覧ください。

～花と緑のイベントが盛りだくさん～

さとやまガーデン フェスティバル 2014

9月27日(土)～10月5日(日)、国営備北丘陵公園
や紅梅通りまちなか広場などを会場に、花と緑
の祭典「庄原さとやまガーデンフェスティバル
2014」を開催します。

国営備北丘陵公園では、庄原市ふるさと大使で世界一のガーデナー石原和幸さんの寄せ植え講座や、フラワーアレンジメント、ガーデングッズづくりのワークショップなど、花と緑に関するさまざまなイベントを開催します。

紅梅通りまちなか広場では、ガーデニングコンテスト、苔玉づくり体験などが行われ、市内全域では、庄原さとやまオープンガーデン2014秋を開催します。

26日(金)には、オープニングイベントとして「庄原さとやまガーデンサミット」を庄原市ふれあいセンターで開催し、北海道ガーデン街道協議会会長の林克彦さんの講演会や、石原和幸さんとの交流会などを行います。

《イベント開催日程》

●=イベント開催日

イベント会場(イベント名)	9/26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	10/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)
国営備北丘陵公園		●	●						●	●
紅梅通りまちなか広場		●	●	●	●	●	●	●	●	●
庄原市ふれあいセンター(庄原さとやまガーデンサミット)	●									
庄原市全域(庄原さとやまオープンガーデン)	9月27日(土)～10月19日(日)の土・日・祝全9日間									

※紅梅通りまちなか広場 苔玉づくりは9月27日、28日のみ
※国営備北丘陵公園 ガーデンコンテスト、オープンガーデン・節分草パネル展示は9月27日～10月5日毎日展示

庄原さとやまガーデンフェスティバル2014に関することは、商工観光課にぎわい観光係(☎0824-73-1179)または、備北公園管理センター(☎0824-72-7000)まで。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署
☎0824-72-0110

1 絵手紙を使用した 特殊詐欺被害の未然防止活動

7月末現在、広島県内では既に8億円以上の特殊詐欺被害が発生しています。被害を未然に防止するため、庄原市内では広島県警、広島県防犯連合会が募集した絵手紙を使用した防犯活動を行っています。

この活動には、庄原市教育委員会、市内各小学校の協力のほか、防犯CSR(企業貢献)に理解のあるセキスイハイム中国株式会社広島支社に絵手紙の印刷や切手代などの協力を得て実施しています。

児童がそれぞれの祖父母へ「絶対に気を付けて」「変な話は僕に言つて」といった特殊詐欺被害を未然に防ぐメッセージとともに呼びかけを行っています。



▲児童が描いた絵葉書

2 特殊詐欺被害に遭わないために

特殊詐欺には、「ギャンブルで儲かりますよ」「これを買えば絶対に儲かりますよ」という嘘の内容のもの、全く身に覚えのない利用料金などを請求

するものや、子ども、孫、警察官、市役所や税務署、金融庁の職員などになりすまして騙そうとするものなど、その手口は色々あります。

実際に被害に遭っている人の多くは、犯人から「これはあなたの名前ですが購入できない。絶対に儲かるので名前(名義)を貸して欲しい」などと言われ、曖昧な返事などしているとあなたがしたことは犯罪ですよ。逮捕されますよ」などと嘘を言つて困惑させ、誰にも相談できない様な状態に追い込んでいます。

●だまされないためには

▼知らない人からの電話やメール、封書は絶対に相手にしない。連絡をしない。このような電話はすぐに切る。▼お金の話が出たら詐欺と考える。儲かる話は嘘。現金を送れ」は絶対に詐欺。▼「インサイダー取引」「裁判に訴える」「警察に逮捕される」という話も絶対に詐欺と考える——ということが大切です。

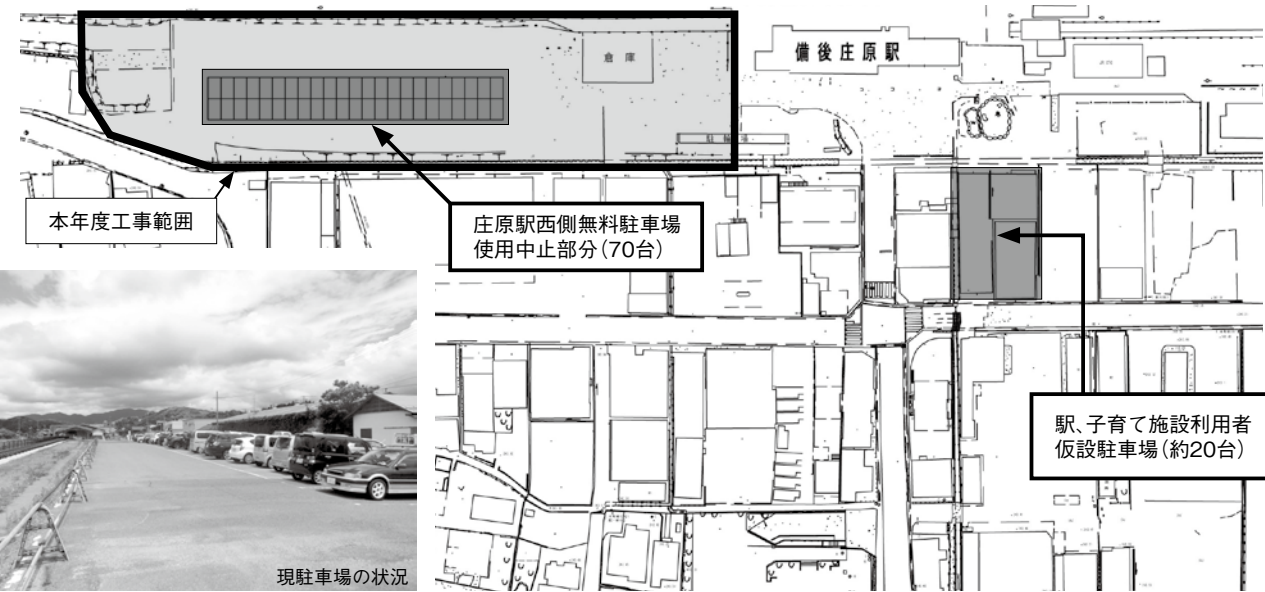
知らない人からお金に関する電話、メールや封書があった場合は、すぐに警察などへ相談してください。

また犯人は、自分の声が録音されることを嫌います。電話機に留守番機能があるものは、積極的に活用しましょう。知らない番号からの電話には出ないことも被害を防ぐ方法の1つです。

無料駐車スペースが使えなくなります —JR備後庄原駅西側無料駐車場—

都市整備課市街地整備係 ☎0824-73-1173

JR備後庄原駅周辺地区の土地区画整理事業(区画道路および宅地整地工事)に伴い、公共交通機関利用者のために設置している駅西側の無料駐車場が12月1日(月)から使用できなくなります。
なお、駅および子育て支援施設の利用者駐車場は、駅前東側に約20台分の仮設駐車場を設置する予定です。



母子保健 だより

子どもの発達支援 —ひとりで悩まず早めに相談を—

保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

気になることは早めにご相談を

「体重が気になる」「抱きにくいような気がする」「言葉がなかなか増えない」「落ち着きがないように思う」「身体を動かすのが苦手」「よく転ぶ」「子どもへの関わり方が知りたい」など、お子さんのことで心配していることや、気になっていることはありませんか？早めに相談することで、その子なりの成長・発達を促すヒントが見えてきます。

市は、子育てでの困りごとや不安なこと、相談や、お子さんへの関わり方のアドバイスなどを専門家が対応しています。ひとりで悩まず早めに相談してみましよう。

専門家による相談って
どんなものがあるの？

■育児相談

毎月、各地域で育児相談を実施しています。保健師・助産師・栄養士が対応しています。そのほか、訪問、電話相談も行っています。母乳のことや離乳食のこと、育児のこと、子育ての些

■乳幼児健康診査

市は、6～7か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を行っています。保育所の身体測定とは異なり、身長・体重だけでなく、発達面もみる大切な健康診査です。また、小児科医の診察、歯科医の診察、栄養士による栄養相談もあります。どこに相談したらいいの？というようなことも相談できます。

そのほか、心理相談員による「個別発達相談」や理学療法士による「運動発達相談」があります。また、本年度から就学の1年前に行う「5歳(年中児)相談」も全市で始まります。どの健診・相談も無料です。ぜひお気軽にご利用ください。

各相談・健診の日程の
お問い合わせ・電話相談の窓口

保健医療課健康推進係
☎0824-73-1255
または各支所市民生活室保健福祉係



Shobara summer festival 2014

やっぱり熱い! 庄原夏まつり

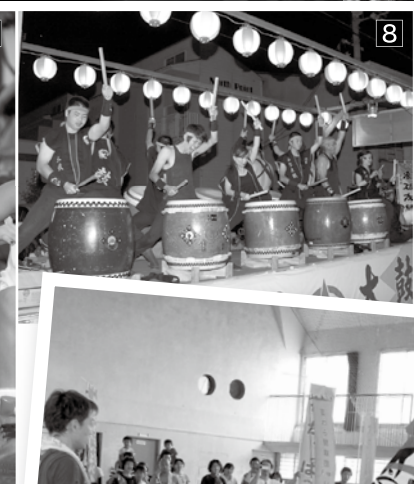
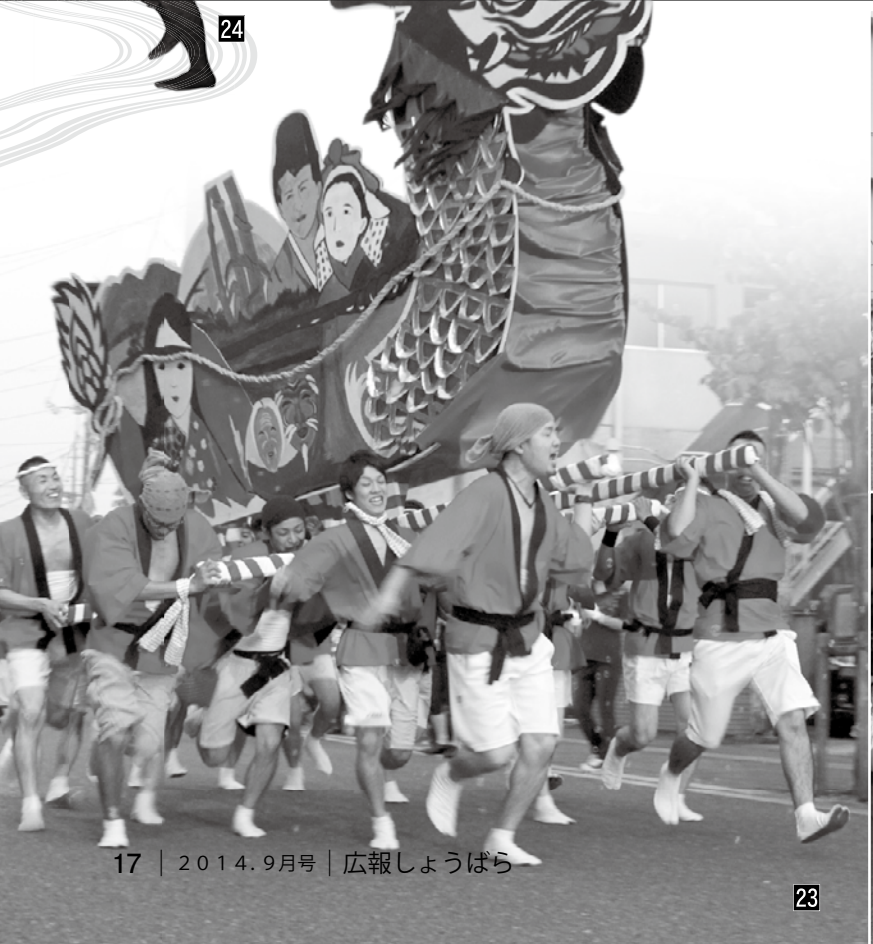
それぞれの催しをカメラが追いました。

8月2日 セタまつりinふるさと高野 13 14 15

8月13日 ヒバゴン郷どえりゃあ祭 16 17 18 19 20

8月23~24日 庄原よいとこ祭 1 2 3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 21 22 23 24

※東城「遊夏祭」、ふるさと盆踊り・花火大会 in 比和は
台風接近・雨天のため中止でした。





新成人の決意を述べる小原淳也さん



祝賀パーティーを楽しむ新成人

平成26年度庄原市成人式が8月15日、庄原市民会館で開催されました。今年、平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人が対象で、市内在住者および出身者393人のうち285人が出席しました。

はじめに、木山耕三市長が「皆さんには無限の可能性がある。さまざまなことに挑戦してほしい」とあいさつしました。

新成人を代表して小原淳也さん（三日市町）が「これからは支える側とし

て、社会にお返ししていきたい」と決意を述べました。

記念行事では、北京五輪男子マラソン代表で広島経済大学陸上競技部監督の尾方剛さんが講演。「壁にぶつかり悩んだ分、乗り越えたときにうれしさが生まれる」と新成人を激励しました。

成人式後に行われた実行委員会主催の祝賀パーティーでは、それぞれの近況を話しながら、懐かしい友人との再会を楽しんでいました。

生涯学習課

輝かしい新成人を祝う 平成26年度庄原市成人式



最優秀賞を受賞した田中さん出品の枝肉



最優秀賞の表彰を受けた、田中さん（左）と繁殖者の沖野さん（右）

農業振興課

庄原産和牛の枝肉が好成績 田中高志さんが広島県畜産共進会夏季枝肉の部 で最優秀賞を受賞

第90回広島県畜産共進会が7月29日、広島市中央卸売市場食肉市場（広島市西区草津港）で行われ、出品された全30頭の中から、庄原産和牛の枝肉が最優秀賞を獲得しました。

この和牛は、和牛繁殖農家の沖野利政さん（東城町）が生産し、和牛肥育農

家の田中高志さん（東城町）が肥育したもので、本市和牛農家の生産・肥育技術の高さを示す結果となりました。

市内からは田中さんの出品を含む4頭が出品され、いずれも肉質等級が4等級以上の上物で、庄原農協口和肥育センターが出品した和牛も優良賞を獲得しています。

このうち2頭は「比婆牛」の対象となる血統牛です。「比婆牛」の認証制度が始まってから、対象となる庄原生まれ、庄原農協管内育ちの比婆血統牛は、肉質等級4等級以上の上物率が非常に高い結果となっています。

引き続き、市内の繁殖農家、肥育農家が支え合い発展する産地をめざし、関係者一丸となって和牛振興を進めていきます。

出品者（敬称略）

- 牧 惣林（総領町）
「おきやすふく9」
- 庄原農協口和肥育センター
「積馬場4」【優良賞】
- 庄原農協西城肥育センター
「立茂32」
- 田中 高志（東城町）
「やまさきおき9」【最優秀賞】

教育指導課

中国の歴史と文化に触れ交流を深める 庄原市青少年友好訪問団が中国綿陽市を訪問

8月4日から10日にかけて、市内の小・中学校の児童生徒9人と引率者4人で構成された庄原市青少年友好訪問団が、経済技術友好協力協定を結んでいる中国四川省綿陽市を訪問しました。

訪問団はホームステイを中心に中国の歴史や文化を学びながら、現地の人々と交流を深めてきました。

当初は9日に帰国する予定でしたが、台風11号の影響で飛行機が欠航し、上海でもう1泊しました。

児童生徒の代表を務めた、和田尚樹君（東城中3年）は「ホストファミリーの皆さんはとても温かく迎えてくださり、家族の一員として受け入れてくださいました。また、綿陽庄原友好小学校の皆



①書画の交流
②庄原市青少年友好訪問団の発表の様子
③みんなで記念撮影



さんとも、綿陽市や庄原市の良さ、中国や日本の文化の素晴らしさなどを楽しく交流しあうことができました。6泊7日という限られた期間でしたが、とても貴重な体験をすることができました」と話していました。

商工観光課

魅力ある逸品づくりを支援 逸品料理セミナー／売れる！特産品づくり講座



逸品料理セミナー



特産品づくり講座（東城会場）

庄原観光いちばん協議会逸品推進部会は7月22日、「逸品料理セミナー」を庄原市総合体育館で開催しました。

このセミナーでは、講師の平山友美さんが「今、求められているご当地メニューとは？」をテーマに、観光客にうける料理提供のポイントを紹介。平山さんは最新の食に関する情報を交えながら、「地域ならではの素材を生かした食を提供していくことで地域の魅力アップにつながる。それが多くの誘客に結びつき、地域の経済循環をもたらす効果がある」などと話し、参加した27人は真剣に耳を傾けていました。

また、7月23日・24日には、「売れる！特産品づくり講座」を庄原市総合体育館、高野支所、東城支所で開催し、延べ90人が参加しました。

「道の駅たかの」のアドバイザーでもある講師の碓孝洋さんが「消費者視

点にあわせたパッケージデザイン・販売促進」をテーマに、地域特産品の流通事情や消費者から求められる商品の具体的な事例などを紹介。

参加者は「具体的な事例に基づく話でわかりやすかった」「ぜひ、新しい特産品づくりにチャレンジしたい」と話していました。

このセミナーなどをきっかけに46の個人・事業者から逸品づくり事業への参加申し込みがありました。

今後は、専門家を交えた個別指導を進めるなど、新たなメニュー開発の取り組みを支援し、逸品づくり事業を進めていきます。



Report 1

手作りの催しに多くの人
東城夜市

▲高校生のバンドライブ

歩行者天国となった街道東城路を会場に8月2日、「東城夜市」が行われました。

「自分たちが子どもだったころの夜市の楽しさ、あの頃のにぎわいを、今の子どもたちにも体験させてやりたい！引き継いで欲しい！」そんな実行委員の思いを詰め込んだ超大型「あんどん」が設置され、子どもたちが遊べるゲームコーナーや、高校生が会場づくりから進行まで全てをこなすバンドライブ、さまざまな出店やバザーなど、延べ600人が手作りの夜市を楽しみました。

Report 2

カープを通じて庄原市をPR
マツダスタジアムで特産品販売

プロ野球公式戦、広島東洋カープ対阪神タイガースが行われた7月27日、マツダスタジアムで毎年恒例



▲にぎわう「かば広場」

となっている「庄原デー」が行われました。

当日は、マツダスタジアム内ライト側「かば広場」と、レフト側「ごりら広場」に設けられたブースで、庄原焼き、比婆牛の丸焼き、スムージー、カレーパン、ドーナツ、こんにゃく、鳥の塩焼きなど多くの特産品販売を通じて、満員の観客に庄原市をPRしました。

また、10月19日（日）に庄原市民会館で開催される第15回庄原子どもミュージカル「モモと時間どろぼう」に出演する子どもたちが、元気いっぱいにダンスと歌でPRしていました。

庄原市カープ応援隊の山根英徳事務局長は「出展者は猛暑にもかかわらず庄原市のPRに努めてもらった。今後もカープを通じて庄原市の認知度を上げ、観光や定住にもつなげていきたい」と話していました。

Report 3

庄原豪雨災害を忘れないために
県北部建設事務所庄原支所が2小学校で防災出前講座

西城小学校・川北小学校で7月17・18日、広島県北部建設事務所庄原支所による「土砂災害に対する防災出前講座」が開催されました。

近年ゲリラ豪雨などの災害が多く発生する中、土砂災害から身を守るための知識や4年前に多くの爪あとを残した庄原豪雨災害について学びました。

職員による座学のほかに、砂防施設の模型実験や工事現場見学などの体験学習を行い、子どもたちは「土砂災害が起きた時の逃げ方や心の準備をしておくことがわかった」と真剣に学習に取り組んでいました。

庄原支所土木課の藤岡修一さんは「今後も防災出前講座を継続して実施し、庄原豪雨災害を忘れず、子どもたちの防災意識の向上を図っていきたい」と話していました。

出前講座での子どもたちが真剣に学習に取り組む様子は「広島県北部建設事務所庄原支所」の



▲模型実験の様子

ホームページ (<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/220/>) でご覧になれます。



相談者に庄原市の魅力を伝える自治定住課職員

広島県交流・定住促進協議会主催の「ひろしま定住フェアin東京」が7月19日、東京都千代田区有楽町にある、ふるさと回帰支援センターで開催され、庄原市も出展しました。

8組15人の方から移住に関する相談を受けました。移住を検討する際にポイントとなる教育、医療、交通、買い物などの住環境や、庄原市ならではの魅力である、「生産者の顔が見える新鮮で安全な食材があること」、「農業」、「自然を利用した多彩なレジャーを楽しむ環境」などを説明しました。

また、地域おこし協力隊員が、移住者の視点から食べ物のおいしさや自然の美しさといった庄原市の魅力を紹介しました。

相談者の年代や家族構成はさまざま

商工観光課

市内施設をぐるっと巡って応募しよう
うまいもんスタンプラリーを実施

庄原市道の駅等連絡協議会は8月1日から10月31日までの期間、市内の5つの物販拠点施設をめぐるスタンプラリーを実施しています。

これは、スタンプラリーに参加してもらうことで、庄原市の新たな魅力を発見してもらい、周遊観光を促進することがねらいで、昨年に引き続き2回目です。また、来訪者アンケートを行い、今後の地域活性化に生かします。

対象施設は「食彩館しよばらゆめさくら」「遊YOUさろん東城」「モーモー物産館」「道の駅たかの」「リストアステーション」で、スタンプを3個以上集めると応募できます。



スタンプラリーの台紙

抽選で庄原の「うまいもん」や「えもん」が当たる特典もありますので、ぜひこの機会にスタンプラリーにご参加ください。

自治定住課

大都市圏で庄原市の魅力をPR
ひろしま定住フェアin東京に出展

でしたが、自然の豊かな環境で暮らしたいという思いを持つ方がほとんどで、大都市圏でPRを行うことに対して手応えを感じました。

市は、今後も都市部からの移住希望者を受け入れられるよう、定住促進に取り組んでいきます。

商工観光課

「観光地・庄原」をPR
観光ノベルティグッズを作成

る、魅せる。Show原—ショウバラ—のキャッチコピーも記載しています。

ポスターデザインと統一することで庄原市のイメージを強く印象付けるとともに、本市への誘客へ結びつけるため、市内外のイベントなどで広く配布します。





パシャッ！

Report 7

覚えてね！毎月 19 日は食育の日 総領町食生活改善推進員が減塩レシピでPR



庄原市生活習慣病健康診査集団健診が実施された 7 月 22 日、総領健康福祉センターで食育ボランティアの総領町食生活改善推進員 6 人が、「食育の日」を PR しました。

推進員は、庄原市食育推進計画（第 2 次）の概要版とひじきご飯のレシピ、食育のチラシを手渡して、「毎月 19 日は食育の日、おいしく食べて健康に」と PR。健診を済ませた住民の皆さんに、温かい減塩みそ汁とひじきご飯の試食を提供しました。「ひじきご飯、薄味でおいしいね」「みそ汁はかつおだしが利いてるね。塩分控えめもおいしいね」と好評でした。

◀総領町食生活改善推進員の皆さん

Report 8

迫力のパフォーマンス 広島県警察音楽隊演奏会

広島県警察音楽隊による演奏会が 7 月 16 日、総領町の里山総領体育館で開催され、総領保育所、総領小学校、総領中学校の子どもたちや地域住民など約 200 人が参加しました。

広島県警察音楽隊は 27 人で構成され、きゃりーぱみゅぱみゅのメドレーから始まり、子どもの好きなディズニーやジブリの名曲などを演奏し、会場を盛り上げました。

演奏会後半は迫力あるドリル演奏に合わせて、「女性カラーガード隊員」がフラッグを巧みに操りながら美しい演技を行い、演奏に彩りを添えました。



▲迫力のドリル演奏にくぎづけ

参加した子どもたちは、身を乗り出し、体でリズムをとりながら音楽隊のパフォーマンスを楽しんでいました。

Report 9

大自然を舞台にトップアスリートに挑戦！ 第 15 回ひろしまクロスカントリー大会

「第 15 回ひろしまクロスカントリー大会」が 8 月 23 日、西城町三坂の道後山高原クロカンパークで開催され、県内外から 1,866 人がエントリー、伴走者



▲大自然をさわやかに駆け抜ける選手たち

を含めおよそ 2,000 人のランナーが道後山高原を駆け抜けました。

競技種目は親子で参加できる 1 km ファミリーの部から 5 km の部までの 4 種目と、日本のトップアスリート選手が出場する 8 km までの合わせて全 5 種目、年齢・性別ごとに 34 部門に分けられます。「全国小学生クロスカントリーリレー研修大会広島県予選」も兼ねており、県内のキッズアスリートも多数参加。招待選手は、県内外の実業団のうち JFE スチール、中国電力、中電工、マツダ、NTT 西日本の 5 団体から出場し、競技をおおいに盛り上げました。

トップアスリートへの挑戦に闘志を燃やす人や、自己の記録に挑戦する人、友人・家族とレジャー感覚で楽しむ人など、参加者は道後山に広がる大自然のコースを楽しみました。

Report 4

男女がアウトドアで楽しく交流 口和自治振興区青年部がアウトドアクッキング交流会



▲みんなで楽しくバームクーヘン作り

口和自治振興区青年部が主催するアウトドアクッキング交流会が 8 月 3 日、口和ほたる見公園で行われ、男性 13 人、女性 4 人とスタッフ、計 33 人が参加しました。

このイベントは、同青年部が男女の出会いの場として企画。市内外の男女がタッチオープン料理、そば打ち、川魚バーベキュー、バームクーヘン作りなどのさまざまなアウトドア体験をしながら交流しました。中でもバームクーヘン作りは、時間と手間がかかりましたが、完成すると拍手が沸き起こり盛り上がりました。

参加した女性からは「さまざまな体験ができ、みんなで楽しく交流できました。また、参加してみたいです」と喜んでいました。

Report 5

オリジナルのパフェでキラキラスマイル 上高自治振興区が子どもクッキング

上高自治振興区主催による子どもクッキングが 7 月 31 日、高野福祉保健センターで開催され、20 人の小学生が参加しました。

子どもたちは「キラキラパフェをつくろう」をテーマに、栄養士の坂口啓子さんからパフェの作り方や包丁の使い方を教えてもらいながら、思い思いのパフェをつくりました。

果物の切り方や、飾り付け、そして食べる量まで自分たちで考えて作ったパフェ。子どもたちにとって最高に「キラキラ」なパフェとなったようで、子どもたちの笑顔もキラキラと輝いていました。

上高自治振興区の林美千恵事務局長は「子どもクッキングはすぐ定員に達する人気企画。習った料理を家庭で作る子もいるという話を聞いてうれしい。何でも自分で作ることはいい経験になるので、これからも続けていきたい」と話していました。



▲考えながらパフェ作り

Report 6

見て触れて知って楽しむ 吾妻山グリーンラリー



▲樹木を調べる子どもたち

樹木の名前を調べながら吾妻山を散策し、設定時間でのゴールを目指す、第 26 回吾妻山グリーンラリーが 8 月 8 日『はっぱの日』に開催され、市内外から 50 人が参加しました。

本来ならば吾妻山の大自然の中で行われますが、当日はあいにくの雨と台風 11 号も接近していることから、比和自然科学博物館で行われました。

参加者は実際に見たり触れたりしながら樹木について学習し、その後グループごとに施設内の決められた箇所に置かれた樹木が何かを調べて回答していききました。樹木の特徴など細かい部分まで観察しながら、大人も子どもも真剣に取り組んでいました。

参加者は「冷房の利いた施設で違和感はあったけど、検索しているときは吾妻山にいたようだった。次回はもっと勉強して吾妻山でやりたい」と意気込んでいました。

生活相談

身体障害者補装具判定会

〔肢体〕 9月18日(木)
受付 13時～14時

ところ

広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4・6・1
※1週間前までに社会福祉課
障害者福祉係へ予約を。
☎0824・73・1210

障害者相談員定期相談会

〔比和地域〕

○身体・知的

10月7日(火)9時30分～12時

ところ 比和自治振興会館

※事前予約もできます。

問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係
☎0824・73・1210

定期巡回児童相談

広島県北部こども家庭セン
ターが子育てに関する相談に
応じます。

●**庄原地域**

とき 9月18日(木)・10月16日(木)
10時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに児童福祉課
あんしん支援係へ予約を。
☎0824・73・0051

●**東城地域**

とき 9月26日(金)・10月24日(金)
10時～15時

ところ 東城支所

※1週間前までに東城支所市
民生活室へ予約を。
☎08477・2・5131

健康相談

広島県北部保健所(三次市
十日市東)で実施する健康相
談です。事前に電話でご予約
ください。秘密は厳守します。

○**心の健康相談**

ストレス、うつ病などの心
の健康に不安のある方やその
家族からの相談に応じます。

とき 9月9日(火)・10月21日(火)
13時～14時

○**エイズ検査・相談**

検査は無料・匿名で受けら
れます。結果はその日にお知
らせできます。相談は随時受
け付けています。

とき 9月10日(水)・10月8日(水)
13時～14時30分

申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
☎0824・63・5181

人権相談

各地域で人権擁護委員が相
談に応じます。

●**庄原地域**

とき 9月16日(火)・10月7日(火)
13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター

●**西城地域**

とき 10月9日(木)
13時30分～16時30分

ところ

西城自治振興センター

●**東城地域**

とき 10月2日(木)
13時30分～15時30分

ところ

東城ふれあいセンター

●**口和地域**

とき 9月18日(木)
13時30分～15時30分

ところ

口和老人福祉センター

●**総領地域**

とき 10月8日(水)9時～11時

ところ

総領健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会
☎0824・62・2572

行政相談

行政相談委員が国の行政に
関する相談に応じます。相談
は無料で予約は要りません。

●**庄原地域**

とき 9月18日(木)
13時～16時

ところ

庄原市ふれあいセンター

問い合わせ

市民生活課市民生活係
☎0824・73・1154

●**東城地域**

とき 9月18日(木)
13時30分～15時30分

ところ

東城支所

問い合わせ

東城支所市民生活室
☎08477・2・5121

●**総領地域**

とき 10月8日(水)9時～11時

ところ

総領健康福祉センター

問い合わせ

総領支所市民生活室
☎0824・88・3063

三次人権擁護委員協議会
☎0824・62・2572

行政相談

行政相談委員が国の行政に
関する相談に応じます。相談
は無料で予約は要りません。

●**庄原地域**

とき 9月18日(木)
13時～16時

ところ

庄原市ふれあいセンター

問い合わせ

市民生活課市民生活係
☎0824・73・1154

●**東城地域**

とき 9月18日(木)
13時30分～15時30分

ところ

東城支所

問い合わせ

東城支所市民生活室
☎08477・2・5121

●**総領地域**

とき 10月8日(水)9時～11時

ところ

総領健康福祉センター

問い合わせ

総領支所市民生活室
☎0824・88・3063

庄原市消費生活センター

契約のトラブルや多重債務

など消費生活に関する相談を
受け、解決のためのお手伝い
をしています。

お気軽にご相談ください。

とき 毎週月～金曜日
(祝日、年末年始除く)
9時～16時(12時～13時休み)

ところ

市役所1階市民生活課内
☎0824・73・1228

庄原法律相談センター

広島弁護士会三次地区会の
弁護士が、市内地域で無料法
律相談会を開催します。相談
時間は1人(1件)30分です。
利用には予約が必要です。

9月・10月の相談日

●**東城地域**

とき 9月24日(水)13時～16時

ところ 東城支所

●**口和地域**

とき 10月14日(火)13時～16時

ところ

口和保健センター

●**高野地域**

とき 10月28日(火)13時～16時

ところ

高野福祉保健センター

予約先・問い合わせ

市民生活課市民生活係
☎0824・73・1154
または各支所市民生活室

健康広場

healthy column

9月は『がん征圧月間』です

September is cancer awareness month

毎年9月は『がん征圧月間』とされ、がんの予防や早期発見・治療の普及について取り組む月となっています。がんは生活習慣と密接に関係していると言われています。がんになりにくい生活習慣を実践することで、がんになるリスクを減らすことができます。



東城支所市民生活室
保健福祉係 保健師
北原 祐子

《日本人のがん予防法》

① たばこは吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ避ける

たばこは肺がんをはじめ、食道がん、膵臓がん、胃がん、大腸がん、膀胱がん、乳がんなど多くのがんに関連することがわかっています。

② 節度のある飲酒をする。飲まない人、飲めない人は無理に飲酒しない

飲酒量の目安(※)
日本酒…1合(180ml)
ビール中瓶(500ml)…1本
焼酎・泡盛…原液で1合の3分の2
ウイスキー・ブランデー…ダブル1杯
ワイン…ボトル3分の1程度

③ 食事は偏らずバランスよくとる

●塩分を抑える。(食塩は1日あたり男性9g、女性7.5g未満)
●熱い飲み物や食べ物は少し冷ましてからとる。

●野菜と果物をとる。(目安は400g。野菜を小鉢で5皿と果物1皿程度)

④ 身体を動かす

●現在の身体活動量を少しでも増やす。(今より毎日10分ずつ長く歩くなど)
●運動習慣をもつ。(30分以上の運動を週2日以上行うなど)

④ 適正体重を維持する

BMI(肥満指数)が男性は21～26.9でがんのリスクが低く、女性は19～24.9で死亡(がん死亡を含む)のリスクが低いことがわかっています。

BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

※国立がん研究センターがん情報サービスホームページより



がん検診も忘れずに！

がんは早期では症状がほとんどありません。予防に取り組むとともに、早期発見・治療のために、がん検診を定期的に受けることが大切です。また、がん検診を受けた後、精密検査の対象になった方は必ず医療機関で精密検査を受けてください。がんから身を守り、いつまでも元気な身体を維持しましょう。

平成26年度 県立広島大学公開講座 テーマ:「大人のための高校講座」

県立広島大学は、県内に広島、庄原、三原の3つのキャンパスがあり、人間文化学部、経営情報学部、生命環境学部、保健福祉学部の4つの学部があります。各学部それぞれの専門性を活用し、地域に開かれた大学として、地域の活性化に積極的に貢献していくための学術情報の収集、発信、情報化の推進を図っています。

今回の講座は、高校の授業科目になぞらえて、いじめ、i P S細胞などの万能細胞、スマートフォン技術、ヘイトスピーチを具体的に取り上げ、現代社会の問題やありようを考える内容となっています。ぜひ、ご受講ください。

とき／10月2(木)～22日(水) **ところ**／県立広島大学庄原キャンパス **申込期限**／9月30日(火)

定員／50人 **申込方法**／氏名(ふりがな)・住所・電話番号を、FAX、郵便、メールのいずれかで送付してください。
※受講申込に伴う個人情報、公開講座以外には使用しません。

回	と き	講座名	ところ	講 師
1	10/2(木) 10:40～12:10	「倫理」 ～いじめ問題から透けてくる幸福論～	2202講義室	総合教育センター 准教授 大草 輝政
2	10/9(木) 13:00～14:30	「生命」 ～万能細胞の過去と将来～	2201講義室	生命環境学部 准教授 山下 泰尚
3	10/16(木) 13:00～14:30	「情報処理」 ～スマートフォンを用いた ひろしま観光マップによる地域活性～	2201講義室	経営情報学部 教授 市村 匠
4	10/22(水) 10:40～12:10	「現代社会」 ～ヘイトスピーチ 民族と国民の不思議な関係～	2201講義室	地域連携センター 講師 上水流 久彦

●申し込み先 〒727-0023 庄原市七塚町562 県立広島大学庄原地域連携センター
●問い合わせ 総務課(地域連携担当) ☎0824-74-1000 Fax0824-74-0191
庄原地域連携センター ☎/FAX 0824-74-1704 E-mail: gakuju@pu-hiroshima.ac.jp

催し

中山間地域振興リレーシンポジウムin庄原

広島県では、中山間地域の多面的・公益的機能の価値を再認識し、県のさまざまな中山間地域施策の取り組みを県民の皆さんに知ってもらい、認知度と地域づくりの取り組みへの参画意識の向上などを図るため、シンポジウムを開催します。

俳優で農業コンサルタントの永島敏行さんによる講演のほか、中山間地域施策を活用

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話ください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》

庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
☎ 0824-73-1243 [月～金 9時～17時 (年末年始・祝日除く)]

広島県西部 こども家庭センター	☎ 082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎ 082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎ 0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

した取り組み関係者からの事例発表やパネルディスカッションを行います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 9月27日(土) 13時～16時
ところ ウイル西郷

1 基調講演 「産直市を活用した地域活性化／食育すること」
生産すること」
講師 永島敏行さん(俳優・農業コンサルタント)

2 パネルディスカッション(予定)
問い合わせ
広島県地域政策局中山間地域振興課
☎ 082・513・2632
企画課政策推進係
☎ 0824・73・1112

第22回比和やまびこ祭

比和牛供養田植などのアトラクション、広島牛の丸焼きなどの各種バザーや特産品が勢揃いします。「からだいきいき健康まつり」「ツーリングトライアルin比和」も同時開催されます。広島百山「福田頭」などの、美しい自然の山々を見ながら楽しい1日をお過ごしください。
とき 10月5日(日)

申し込み方法

申込書に必要事項を記入の上、作品の搬入日に田園文化センターへ持参してください。申込書は、田園文化センター、生涯学習課、各支所教育室、各自治振興センターにあります。

作品搬入日
10月10日(金)・11日(土) 10時～18時

表彰 優秀な作品に対して大賞・奨励賞を授与します。表彰式は、11月3日(月)9時30分から田園文化センターで行います。

展覧会

【前期展】
日本画／洋画／写真
11月3日(月)～8日(土)
※ただし、4日は休館です。

【後期展】
彫塑／工芸／書
11月13日(木)～18日(火)
※ただし、17日は休館です。

問い合わせ
10時～18時
田園文化センター
☎ 0824・72・1159

庄原市内小中学校で勤務する職員の登録募集

小中学校の教員が産産・育児・病気などで休んだときの

9時～15時15分

ところ 比和総合運動公園

問い合わせ 比和やまびこ祭実行委員会事務局(比和支所産業建設室)
☎ 0824・85・3003

第14回口和モーモー祭

2年に一度開催される、口和地域のシンボル「牛」をテーマにした一大イベントです。会場内では和牛の炭火焼や、もも肉の丸焼き、地元特産品などを販売。地元芸能などの発表や歌謡バラエティーなど楽しいイベントも用意しています。

祭の一番人気「広島県産黒毛和牛の炭火焼コーナー」の前売券(コース2000g 2500円)を販売していますので、お早めにお買い求めください。

とき 10月11日(土)10時～12日(日)9時～

ところ 口和運動公園

内容 モーモー大行進、牛と子どもの綱引き、広島県産黒毛和牛の炭火焼コーナー、地元芸能、上杉千恵美、沖野保彦歌謡ショー(11日)、鳥羽一郎歌謡バラエティー(12日)など

臨時任用教諭や、小中学校の教育の充実のための教諭・講師といった「庄原市内小中学校で勤務する職員」への登録者を募集しています。

希望のある方は、市ホームページの教育委員会教育指導課のページに募集案内と登録用紙を掲載していますので、登録用紙を提出してください。

提出・問い合わせ
教育指導課学係
☎ 0824・73・1183

庄原市文芸大会作品募集

庄原市文化協会では、次のとおり作品を募集します。奮ってご応募ください。

募集作品
①短歌②俳句③川柳④現代詩

応募資格
庄原市民(市内の文芸サークルに所属の人を含む)

応募方法
自作の未発表作品を、はがきに書いてお送りください。※現代詩は原稿用紙に書いて封書でお送りください。(ワープロ原稿可)

※応募は一部門のみで、重複はできません。

応募先

問い合わせ 口和モーモー祭実行委員会(口和支所産業建設室内)
☎ 0824・87・2113

第5回庄原市民俗芸能大会

庄原市内の民俗芸能保存団体が、地域の民俗芸能を一般に公開する「第5回庄原市民俗芸能大会」を開催します。長い歴史とともに今日まで受け継がれてきた貴重な民俗芸能を、この機会にぜひご覧ください。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

とき 10月13日(月・祝) 11時～15時30分

ところ 国営備北丘陵公園

※観覧は無料ですが、公園入園料・駐車料は別途必要です。

問い合わせ 庄原市民俗芸能大会実行委員会事務局(生涯学習課文化財係内)
☎ 0824・73・1189

精神障がい者地域生活支援シンポジウム

テーマ
「地域で安心して生活するために私たちができること」

(1)講演
講師 社会福祉法人あらくさ

広告

一人で悩まないで まず相談してください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

司法書士 飯田 一生

庄原 司法書士

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属) (司法書士登録番号828号)

〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

○短歌(一人一首)
清光康子(上原町36・3)

○俳句(一人二句)
桑原知樹(川手町597・2)

○川柳(一人五句)
林武志(川手町1318・3)

○現代詩(一人一篇)
田中虎市(高茂町16)

応募期限
10月10日(土)必着

その他 11月15日(土)の大会で、部門ごとに優秀作品8点を選び表彰します。

問い合わせ
庄原市文化協会 林武志
☎ 0824・72・3286

募集

庄原市美術展覧会作品募集

田園文化センターで11月3日(月)から開催する庄原市美術展の作品を募集しています。

出品規定
○市内在住または、市内に通勤・通学している高校生以上の方。自己の創作した作品で未発表のものに限ります。
○1種目につき1人1点とします。

種目 日本画、洋画(水彩、油彩、デザイン、版画など)、彫塑、工芸(陶芸、染織、木工、ちぎり絵、七宝、押花など)、書(漢字、仮名、前衛)、写真。※規格は問い合わせください。

理事長 寺田朱美さん

(2)シンポジウム
シンポジスト／当事者、家族、事業所、病院など

とき 10月6日(月) 13時30分～15時45分

ところ 上高自治振興センター(高野町)

申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課保健対策係
☎ 0824・63・5181

秋まつり2014

9月13日(土)～10月19日(日)

国営備北丘陵公園では、9月13日(土)から「秋まつり」を開催します。

国営備北丘陵公園だより



備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000
(http://www.bihoku-park.go.jp/)

100品種、110万本の「コスモス」

公園の秋の主演は「コスモス」。国内最大級の100品種のコスモスが9月中旬から10月中旬にかけて「花の広場」に咲き広がります。一面に咲き広がるコスモスは背の低い(矮性種)ドワーフセンセーション。そのほかにも、花卉の形、色などいろいろなコスモスをご覧になれます。



※天候によって開花時期が変更する場合があります。

期間中のイベント

秋まつり期間中の週末、祭日を中心に手軽に楽しめるイベントが盛りだくさんです。毎年好評の「神楽公演」や9月13日～15日には「オータムフェス」、9月27日～10月5日には「ガーデンフェスティバル」を開催。



花火

問い合わせ

グリーンウインズさとやま ☎ 0824-72-7211

花火と音楽の祭典

音楽ライブと2千発の打ち上げ花火による音と光の祭典。

とき 10月12日(日)

ところ 大芝生広場

出演 堂島孝平、メビウス、チャラン・ポ・ランタン

チケット

大人1500円
小人(小・中学生)500円
前売限定ペアチケット(大人2枚、小人1枚)2500円

42・195キロリレーマラソン大会参加者募集中!



リレーマラソン

フルマラソンの距離をたすきでつないで走るユニークなマラソン大会です。

とき 10月26日(日)

ところ 大芝生広場とその周辺

申込締切 10月10日(金)必着

※有料です
申し込み先 42・195kmリレーマラソン協会西日本支部

☎ 0120-846-598

※期間中のイベントなどは、電話または公園ホームページでご確認ください。

広告

住友不動産の「新築そっくりさん」

「古民家再生」住友不動産には、技がある。

寒い。暗い。弱い。古民家の抱える問題は、場所によっても年代によってもバラバラです。それぞれの古民家に対して正しい解決法を導き出せるのは、豊富な経験と実績に他なりません。お客様の古民家のお困りごと、まずは

下記フリーダイヤルに問い合わせ頂ければ、資料(旧家新家論)など差し上げます。



建物調査から始めましょう。

☎ 0120-093-395

FAX 082-532-1326

住友不動産

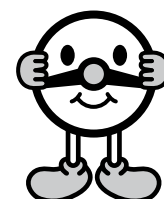
新築そっくりさん 広島事業所 ☎ 733-0013 広島市西区横川新町6-8 西区民センター1F

飲酒運転の根絶!

皆さん一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

ハンドルキーパー運動にご協力ください

お酒を飲むときには、ハンドルキーパー(お酒を飲まず仲間を送り届ける人)を確保して、絶対に飲酒運転はしないようにしましょう。



ハンドルキーパー

危機管理課 ☎ 0824-73-1206

楽しい催しでの火災予防

昨年8月に京都府福知山市で発生した花火大会での火災を踏まえ、多数の人が集まる催しに市民の皆さんが安心して参加できるように、火災予防に必要な事項を定めた備北地区消防組合火災予防条例が改正され、8月1日に施行されました。

不特定多数の人が集まる祭礼や縁日、花火大会、自治振興区や自治会で開催されるふるさと祭りなどで、ガスコンロや発電機などを使用して露店や屋台を出店する場合は、消火器の準備をするともに、催しの主催者等は開催日の3日前までに消防署に届け出を行うことが義務付けられました。ただし、家族、親戚などの範囲で行うバーベキューなどは対象外です。

詳しい内容や届出用紙などについては、備北地区消防組合のホームページ、またはお近くの消防署、出張所にお問い合わせください。

●6月16日～8月15日までの火災発生状況

発生日	場 所	火災種別
7月30日	東本町二丁目 新庄町	建物火災 その他の火災



一人一人の心がけで火災のないまちを目指しましょう

危機管理課 ☎ 0824-73-1206

人の動き

平成26年7月末現在

【住民基本台帳登載人口】
 人口 38,543人（前年比－550人）
 男 18,235人（前年比－255人）
 女 20,308人（前年比－295人）
 世帯数 15,962世帯（前年比－20世帯）
 【うち外国人】人口 310人（前年比＋35人）

ロビーコンサート

生涯学習課 ☎0824-73-1188

と き 9月22日(月)12時15分～55分
 ところ 市役所1階市民ホール
 出演者 佐川 峯（バンドネオン）
 国岡 勝（バンドネオン）
 MEGU（ピアノ）

曲 目 ジェラシー、黒い瞳、上を向いて歩こう
 ほか
 ▶佐川 峯…94歳現役バンドネオン奏者・作曲家。東洋音楽学校（現東京音楽大学）卒業。15歳の時に銀座で聴いたバンドネオンの音色に魅せられ独学で勉強。アルゼンチンや北米などでもCDアルバムが発売され、アルゼンチンではFMで頻繁に演奏の放送もされている。広島市在住。
 ▶国岡 勝…17歳の時に民放ラジオで佐川峯氏のバンドネオン演奏に出会いその音色に導かれ同氏に師事する。現在は仕事の傍らタンゴの普及と発展に取り組んでいる。庄原市在住。
 ▶MEGU…5歳からエレクトーンを始める。広島音楽高校、国立音楽大学に進学しさまざまな楽団のアレンジやアンサンブルなどを学ぶ。第1回 Evolution にて最優秀賞を受賞。広島県出身。

広報日記

広島市で発生した豪雨災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りします。また、被害を受けられた多くの方々に、心からお見舞い申し上げます。この豪雨災害で、4年前の庄原豪雨災害が思い起こされた方もいらっしゃると思います。

それにしても、今年は本当に気象がおかしいですね。梅雨が明けてからの方が雨が多く、台風も接近して、軒並みイベントが中止に追い込まれました。広報しょうばらでは、毎年庄原夏まつりとして各地域の夏まつりを組み写真で紹介していますが、今回のように複数のまつりが中止で掲載できなかったことはほとんどありません。開催されたものでも雨で開催が危ぶまれたものもあり、この企画自体が成り立つか心配していましたが、何とかページを組むことができてほっとしました。

特集の中で、表委員長が森林の災害防止機能に触れられていますが、木の駅プロジェクトはその部分に着目した取り組みでもあり、約84%の森林を持つ本市にとって、大きな可能性のある取り組みだと感じました。災害をそれだけで止めることはできませんが、少しでも災害に遭わないために、私たちも森林に目を向けていく必要があると思います。Ⓐ

食育コーナー

農業振興課 ☎0824-73-1132

庄原市食農教育モデル事業

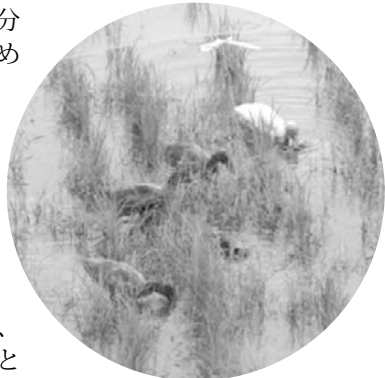
庄原市食農教育モデル事業は、地域の農業や食の安全などへの関心・理解を深めるために、市内の小中学校が行う“地域の子もたちに「食」と「農業」の大切さを学習する機会を提供する取り組み”を支援しています。

本年度は市内の小学校の内、12校がこの事業に取り組んでいます。それぞれ地域の特色に合わせ、学校田での米づくりや学校菜園での野菜づくりのほか、りんごやぶどう、しいたけなど多様な作物の栽培を行っています。

米づくりでは「あいがも農法」などの取り組みを通じて、地域で行われる無農薬での栽培法を学んだり、学校田で収穫された米を食味コンクールに出展したりするなど、毎日食べる「お米」とそれが出来るまでの「農」の結びつきへの関心を促す、特徴的な取り組みが行われています。

作業は、地域の皆さんの指導を受けながら児童が自ら行うため、自分たちの食への関心・理解を深めるきっかけになっています。

栽培・収穫された作物は、学校で行う伝統料理教室や調理実習の材料としても使用され、地域の方に振る舞われます。こうした地域の人々との交流も、食に関する関心・意欲の向上につながり、地域農業への理解を深めることに結びついています。



アイガモ農法

犬・猫の引き取り

環境政策課 ☎0824-72-1398

9月・10月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。手続きには認印が必要です。持参してください。

	引き取り日	時間	場所
庄原地域	毎月第2・4水曜日 9月10日・24日	9:00～9:30	市役所車庫
東城地域	10月8日・22日	10:40～11:10	東城支所 正面駐車場

※飼い犬・猫の引き取り(有料)を希望する方は、必ず事前に広島県動物愛護センター(☎0848-86-6511)に連絡し、承諾を得てください。

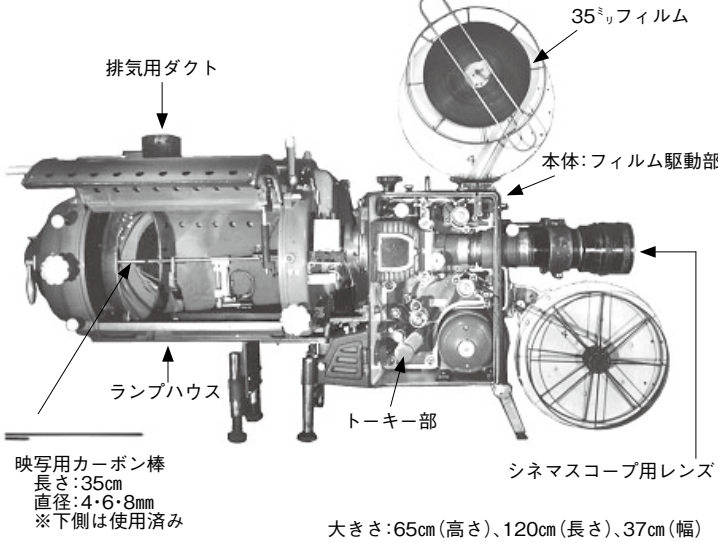
しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
 ★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
 ★毎月20日が出店申込締め切りです。
 ★申し込みは交流サロンラッキー ☎0824-72-0075 まで
 と き 10月9日(木) 9時～13時
 ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
 詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>

口和郷土資料館

☎0824-87-2230
開館：月・木・土 9時～17時

アーク式35ミリ小型映写機(移動用)



これは昭和40年頃、新響電機工業（株）で製造された、35mmフィルム上映用の「35mmアーク式小型映写機」です。

この映写機は昭和60年頃まで、東城の「偕楽座」で移動上映用として使われ、東城をはじめ庄原や旧比婆郡などの移動映画会で、2台の映写機が活躍していました。映画館に常設の大型映写機（約150kg）に比べ小型軽量に作られ、移動のため簡単に組み立て・分解ができます。光源はアーク式ランプのため、明るく美しい画像で、シネマスコープ（ワイドスクリーン画面縦横比1対2.35に拡大映写）上映もできます。

映写機の仕組みは、フィルムを1秒間に24コマ毎“間欠(止まったり動いたり)の繰り返し”で動かします。映写時には停止時（シャッターで光源の光を遮った時）にコマを送りますが、上映画像は“パラパラマンガ”の原理で連続して見えます。音声はトーキー部で、画像より20コマ先の帯状に記録したフィルムから光の変化として取り出します。アーク式ランプは、銅メッキしたカーボン棒2本を向き合わせて、電流を流すと約5mmの間隔で放電して強力な「アーク光」が発生します。熱と煙が出るので排気ダクトが必要です。カーボンは燃えて約30分で消耗するので、フィルム交換で休止している時カーボン棒を交換します。

映写機の歴史は、明治26年にはエジソンが覗き眼鏡式映写機キネトスコープを開発したのが始まりで、明治28年パリでスクリーンへ投影するシネマトグラフが公開≪映画の誕生≫され、日本では電気式活動走馬燈が見世物として登場しています。大正9年には無声映画も始まり、大正7年頃から明るいアーク式ランプの使用、そして昭和5年にはトーキー（音声が出る映画）、昭和29年にはシネマスコープへと発展してきました。

最近の映画はデジタルで衛星配信される時代です、そのため映画館でのフィルム上映は過去のものとなり、このような映写機の出番は無くなっています。

市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

第10回絵手紙大賞作品展
 とき 10月8日(水)～10日(金)10時～16時
 圃庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
 商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
 ※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら
ゆめさくら ☎0824-75-4411

9月～10月のイベント情報
 ▶ゆめさくら講座
 ◎草木染め教室～花びら染めをしましょう～
 とき 9月22日(月)
 午前の部 9時～12時
 午後の部 13時30分～15時30分
 参加費 4,900円 定員 各12人
 ◎かずら教室
 ①「竹の花台(午前の部)」
 ②「写真立て(午後の部)」
 とき 9月26日(金) ①9時30分～12時
 ②13時30分～16時
 参加費 ①2,300円 ②1,300円
 定員 各10人

休日診療のご案内

9・10月の休日診療については、次のとおりです。
 ●庄原市休日診療センター
 診療日：日曜・祝日・年末年始
 圃診療日 ☎0824-72-9900
 診療日以外 ☎0824-73-1155(保健医療課)
 ●東城地域

9月14日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
15日(月)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
21日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
23日(火)	細川医院	☎08477-2-0054
28日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
10月5日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255

市税・水道料金・下水道使用料
納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
 残高確認も忘れないでください。

●税務課収納係 ☎0824-73-1145
 ●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
 ●水道課業務係 ☎0824-73-1197

撮影場所／中本町二丁目から西本町を望む（平成26年8月20日未明撮影）



Vol.50

雷（いかづち）



今年の夏は例年になく天候だったなあ。と、今さらながらに思う。この日も県内各地で豪雨や落雷の被害があった。夜勤からのもどり、稲光で折りまばゆく光る空を目にした時、ふと妙な考えが頭をもたげてきた。「稲妻つて携帯のカメラで撮れるのだろうか？」物は試しと、窓辺に陣取り「その一瞬」を狙い何度もシャッターを切った。

運も手伝い、本町上空に躍る稲妻を捉えた。あらためて故郷の自然は恐ろしくもあり、美しい物だと感じた。

上田 隆人（中本町）

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します！

おいしいものは
庄原市地産地消推進店
地元にある!!

JA 庄原 西城支所 西城生活センター

登録
第36号店

所 西城町大佐 750-1
☎ 0824-82-3699
営 9時～18時
休 日曜日
HP —

取り扱う市内産食材
野菜・果物・牛肉・加工品(味噌・お茶)・生花など

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？
JAはこれまでも地産地消を推進情報を発信しています。また長年にわたり美味しいと評判のひろしま牛肉をはじめ、地元の野菜や果物、JA女性部みそ加工グループが作られている「ひばごん味噌」など、多くの産品を取り扱い販売していることを広く皆さまに知っていただきたいと思い登録しました。

お店の推進店としてのこだわりは？
地元の方が利用されるお店が少なくなりつつある

中で、四季を通じて新鮮な国内産農畜産物を「安全・安心」にこだわり販売しています。また、地域の皆さまに親しまれ、お年寄りにやさしいお店として取り組んでいます。

皆さんへ一言
JA庄原西城生活センターは地元の食材はもとより、Aコープマーク品をはじめとする「安全・安心」な商品を多数取り揃え皆さまのご来店をお待ちしています。西城へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

▲地元新鮮野菜が並ぶ

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。
詳しくは、保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255) まで。